

平成18年11月10日

新宿区長

法人名NPO法人森とでんえん倶楽部
所在地新宿区高田馬場4-18-15-第二102
(フリガナ)

代表者氏名 かくほけいき 角保恵喜

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	心身はつらつ・新宿・親と子の協働カレッジ（森林体験・伝統文化体験教室）
実施日時又は期間	2006年8月5日 森林体験・カブトムシ教室、2006年9月16日、10月21日 日本伝統文化体験教室（お茶のお点前、日本の話芸、漱石音読、コーラス、草笛体験）
対象者の範囲及び人数	新宿区在住の小中学生とその家族 80人（子ども60人、親20人）
事業内容	国分寺崖線と野川森林公園：自然観察・ネイチャーゲーム・カブトムシ教室 日本伝統文化体験教室：お茶のお点前・漱石音読・日本の話芸・コーラス・草笛体験
具体的な活動状況	森林体験・カブトムシ教室：国分寺崖線から野川公園を舞台に歴史自然観察・気功・ネイチャーゲーム・カブトムシ教室・草笛を親子で体験しました。 日本伝統文化体験教室：（9/16）お茶のお点前・琴鑑賞・日本の話芸（落語体験）唱歌でコーラス、（10/21）お茶のお点前・漱石音読・コーラスを親子で体験しました。
事業の成果	日ごろ、多忙なお父さんやお母さんが家族で非日常的な体験を子どもと一緒に楽しみました。子どもたちも勉強に追われ心のゆとりを、ともすれば失いがちになる現状に少しでも豊かな心の醸成に役立つ機会を提供したいとの願いを持ってはじめました。生き生きとした目の輝き、お茶の作法も熱心に学ぶ姿、「さくらさくら」が引けるようになったこの喜びかたを目にし、大きな成果を実感しました。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金	別紙支出明細の通り		271,274 円
	参加費・資料代等	カブトムシ（300 円*20 人）文化 9/16（400 円*13 人） 文化 10/21（400 円*24 人）		20,800 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		249,000 円
	計			541,074 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	6,402 円	3,924(会議室料) 2,478(連絡会議費 2 回分)	
	宣伝費	48,474 円	45,390(印刷費) 1,407(用紙代) 1,677(写真紙焼き代)	
	リース費	28,000 円	16,000(カブトムシ保育設備) 9,000(琴) 3,000(お茶器材)	
	消耗品費	4,367 円	3,885(胸リボン) 482(クリップ、ピン)	
	謝礼	283,045 円	40,000(2 万円*2 人) 17,000 (1 人) 14,000 (1 人) 13,000 (1 人) 60,000(12 千円*5 人) 30,000(1 万円*3 人) 90,000(9 千円*10 人) 6,000 (1 人) 3,045 (1 人) 6,000 (3 千円*2 人) 4,000 (2 千円*2 人)	
	材料費	83,133 円	55,300(カブトムシ代 790 円*70 匹) 6,505(ラジカセ・CD) 18,604(抹茶・お茶うけ・黒モジ) 2,724(カッター厚紙)	
	交通費	0 円		
	その他諸経費	46,323 円	18,000(アルバイト 6 千円*3 人) 15,370(運送費) 5,568(保険料) 7,280(通信費) 105(のし袋)	
助成対象事業費（小計）		499,744 円		
余 剰 金		0 円		
助成対象外事業費		41,330 円	24,000(事務局費) 5,580(タクシー代) 3,700(講師食事代) 8,050(交通費助成)	
事業総額		541,074 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	心の豊かさを育てる：60点 遊びの喜びを知る：60点 日本に住む人としての伝統の自覚：55点
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	親子が共に体験を分かち合う意義に参加者が目を開いたと喜んでいますが。親子間、新しい出会いのふれあいで、ゆたかな心と伝統への自覚がささやかに醸成出来たと考えます。より内容を充実させる必要があります。
新たに気づいた課題は何か。	体験内容の充実とメニューの拡大
理解者や支援者が広がったか。	区内の協力者の力で、スムーズに事業が展開できました。講師陣はほとんど区内の協力者です。
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局を充実させることが課題です。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	定期的に継続的に実施する事業に成長させたいと願っています。
その他	今後も1～2年ご支援いただくことが出来ればと期待しています。しかし、特定の団体への固定化は望ましくなく、願いは千路に乱れます。

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。